

# 地域周産期医療学

## 1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在
教授	0 人
准教授	0 人
講師（うち病院籍）	0 人 (0 人)
助教（うち病院籍）	0 人 (0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	2 人
医員	0 人
研修医	0 人
特任研究員	0 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人 (0 人)
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技術職員（教務職員を含む）	0 人
その他（技術補佐員等）	2 人
合計	4 人

## 2 教員の異動状況

飯嶋 重雄（特任准教授）（平成 24 年 4 月 1 日～現職）

大石 彰（特任助教）（平成 24 年 5 月 1 日～現職）

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1 編 (0 編)
そのインパクトファクターの合計	1.32
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編
そのインパクトファクターの合計	0.00
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編 (1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編 (1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編 (0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Ohishi A, Ueno D, Ogata T: Glucose-6-Phosphate Dehydrogenase Deficiency and Adrenal Hemorrhage in a Filipino Neonate with Hyperbilirubinemia. Am J Perinatol Rep, eFirst: 16 November 2012

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 飯嶋重雄:特集 関節リウマチと膠原病患者における妊娠をめぐる諸問題 自己免疫疾患が胎児、新生児に与える影響は？, 分子リウマチ治療, 6, 24-27, 2013.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 与田仁志, 飯嶋重雄: 新生児編 循環 ショック, 症例から学ぶ 周産期診療ワークブック, メジカルビュー社, 東京, 270-274, 2012

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 24 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	0 件	(0 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

- (4) 財団助成金
- (5) 受託研究または共同研究

## 6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	2 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

### (1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

### (2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表
- 4) 座長をした学会名

### (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

- ・日本周産期・新生児医学会：評議員
- ・日本未熟児新生児学会：評議員

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

- (1) 国内の英文雑誌等の編集
- (2) 外国の学術雑誌の編集
- (3) 国内外の英文雑誌のレフリー

Pediatrics International（日本）：1 回

## 9 共同研究の実施状況

	平成 24 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	1 件

(1) 国際共同研究

(2) 国内共同研究

(3) 学内共同研究

「乳児における斜頭症・絶壁頭の防止用具の開発―試作品の効果検証―」、  
浜松医科大学臨床看護学講座、2012 年 4 月～2015 年 1 月

## 10 産学共同研究

	平成 24 年度
産学共同研究	0 件

## 11 受賞

(1) 国際的な授賞

(2) 外国からの授与

(3) 国内での授賞

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

## 13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

## 14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

## 15 新聞，雑誌等による報道

1. 静岡新聞（平成 25 年 1 月 28 日、夕刊）：

周産期医療 専門医育成へ本腰 県と浜松医大 講座で魅力 PR.